

別記第4号様式(第6条関係)

稚内市議会政務活動費収支報告書

平成29年4月13日

稚内市議会議長 中井 淳之助 様

議員名

吉川孝次

次のとおり平成28年度稚内市議会政務活動費の収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 360,000 円

2 支出

科 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費	130,880	議員研修会参加旅費及び資料費
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	12,474	議員情報レポート現行取組政策調査
人件費		
事務所費		
その他の経費		
合 計	148,364	

3 残 額 211,646 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。



活動内容報告書

平成29年4月7日

椎内市議会議員 三田孝史

活動等の名称	地方議員研究会主催 議員研修会出席
期 間	平成29年3月29日～平成29年4月1日
実施場所	東京都中央区八丁堀 アットビジネスセンター 東京駅八重洲通り
実施経費	130,880円 <input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> その他
活動等の概要	3/30午前、東京の住方のキホンのキ 午後所を動かす質問の仕方 3/31午前、来年度に使える質問の題材
備 考	別紙 議員研修会報告書のとおり

自由クラブ(吉田孝史議員)

旅行期間／平成29年3月29日～平成29年4月1日

旅行行程表

月 日	行 程	滞 在 地
3/29	稚内市 → 稚内空港 → 新千歳空港 → 羽田空港 → 東京都内	東京都
3/30	研修	東京都
3/31	研修	東京都
4/1	東京都内 → 羽田空港 → 稚内空港 → 稚内市	

旅費計算表

項 目	内 訳	金 額
航空機	3/29 【乗継旅券】稚内空港 → 新千歳空港 → 羽田空港 15,290円 4/1 【旅割45】羽田空港 → 稚内空港 15,590円	30,880
バス	3/29、4/1 稚内 ⇄ 稚内空港 1,200円 (600円 片道)	1,200
鉄道	3/29、4/1 東京駅 ⇄ 浜松町駅 320円 (160円 片道)	320
モノレール	3/29、4/1 浜松町駅 ⇄ 羽田空港 980円 (490円 片道)	980
日 当	@3,000×4日	12,000
宿泊費	@13,500×3泊	40,500
合 計		85,880

領收証

B 004392

ヨシタタカミ 様

29年2月20日

種別	金額
現金	0
小切手	
銀行振込	
相殺	

130880

印紙

但し 船空券代として

3/9提内十萬~羽田手續料 1550円
4/1羽田~船内手續料 450円 1550円

北海道知事登録旅行業 第2-

北部観光株式

稚内本社 稚内市中央4丁目5番29号 ☎(016)



領 収 証

稚内市議会議員 吉田孝史 様 29年3月30日

★ ¥45,000

但 3/30 10:00~「質問の仕方のキホンのキ」
3/30 14:00~「役所を動かす質問の仕方」、
3/31 10:00~「来年度に使える質問の題材」
3講座 研修会受講代として

上記正に領収いたし

地方議員研究
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目7-3
TEL 06(7878)6297

平成29年2月16日

稚内市議会
吉田 孝史様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

受 講 確 認 書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。
宛名「稚内市議会議員 吉田孝史様」、金額「45,000円」にて発行いたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成29年
3月30日10:00~12:30、3月30日14:00~16:30、3月31日10:00~12:30
- ・受講料 1講座 15,000円 × 3講座 = 45,000円

【受講料 お振込み口座】

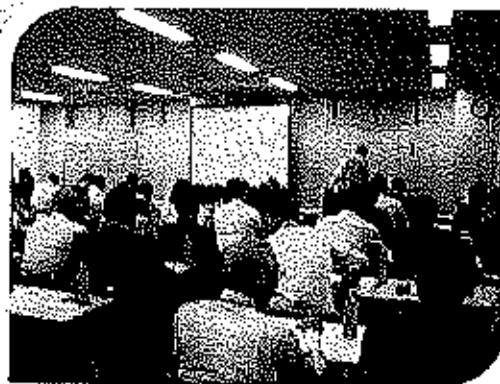
[REDACTED]

名義 (社)地方議員研究会

「地方議員研究会」主催
議員研修会 in 東京 報告書

日 時：平成 29 年 3 月 30 日・31 日

会 場：アットビジネスセンター東京八重洲通り



報告者 自由クラブ 吉田 孝史

はじめに

我々、「自由クラブ」は、会派結成以来、一貫して、「研究課題」を見出すキッカケとなる「研修会」には、積極的に参加すべきと言ふことで意思統一している。

これまでも2年間、各自、研修会には、積極的に参加してきた「会派」との自負がある。

我々は、以前から、地方議員の議会現場で、役に立つ知識や情報を発信し続け、かつ優秀な講師陣を配している「地方議員研究会」主催の研修会には、注目していた。

今回、議員の一般質問の重要性に焦点を当てた同研究会主催の「研修会」が、東京都で開催される企画を知った。言うまでもなく、我々、議員の生命線である「議員力」を高める近道は、質の高い「一般質問」ができる「力量を持つこと」は、重要である。

このたび、年度末ではあったが、「地方議員研究会」の名物講師との評判が高い、東大卒、総務省官僚、元佐賀県武雄市長、樋渡啓祐氏の、「一般質問」においての「役所を動かす質問の仕方」と題しての「議員研修会」があり、「我々の求めていた時宜を得た研修会」と捉え、自由クラブ代表、副代表の吉田・伊藤の2名で出席した。

3月30日 10:00~12:30 「質問の仕方のキホンのキ」

・質問を受けてきた市長の本音

市長経験者としては、質問の上手な議員には丁寧に答えるし、議員によっては「リップサービス」も言う。職員も議員の力量に優劣をつけている。これが行政であることも知ること。

・なぜ、あなたの質問で執行部は動かないのか。

市職員にとっては、議会は儀式に過ぎない。予定稿として事前調整はしたい。それに乗るべし。質の良い質問には、耳を傾けるが、最初は、ゼロ回答か、ヤルとは言わない。それを引き出す技量が必要。

そして普段からのコミュニケーションも大事。そこを知るべし。

・質問のコツ教えます。

議員の心得るべきは「玉は自分が持たない。行政に持たせる」事。
いまは、議会もケーブルテレビや、インターネット配信で、市民の議会における議員個々の「質疑」を注視している。
一般質問は、「議会を華やかな場」に変える機会と、前向きに捉えるべし。

「言葉が命」「ストーリー性」を持たせる事がコツ。

良い質問は、市民の支持も受けるし、行政も動かせることを知ることが大事。

3月 30日 14:00~16:30 「役所を動かす質問の仕方」

・市長として受けた良い質問と悪い質問

会場で、樋渡先生が、鋭く「良い質問」と言うビデオを流す。場面は、佐賀県議会、自民党議員の例：間があること。先生曰く：質問する立ち姿が良いこと。ある意味、しつこいこと。そして、執行部が逃げられない質問をすることである。

次に、先生が「悪い質問」と言うビデオを見る。武雄市議会議員の質問：活舌が悪い事。だらだらと同じ質問を繰り返すこと。抑揚がないこと。飽きさせること。まとまりがない。我々も、そう感じる。

樋渡先生曰く：良い質問には、「物語性」に加え、「データ」や「足で稼いだ情報」を駆使することが大事である。

・効果的な質問、役所を動かす質問とは

市職員との出会いを作る。彼らは「情報」を持っている。議員も常に勉強をすべき。専門性は、行政マンから引き出す。行政が「やりたい・やろう」としていることを先取りして、質問する。「机（行政マン）」と「現場（議員）」の「温度差」を際立たせ、そこを突く。インパクトとコンパクトを意識せよ。

樋渡先生曰く：「この議員の話しさ聞こう」と言う存在になる事。役所を動かす質問で大事なことは、ストーリー性を持って、時には早く短い「フレーズ」を意識すること。特に、市民には、「物語」を示すと飽きさせない。

・一般質問によって役所では、何がおこなわれているか？

議員では、質問が終わると一服着くのが恒例、他方、行政にとつては終わりでない。必ず、総括をしている。議員としては、質問したことは、繰り返し確認作業を怠らないことが大事。時には、行政・議会共通の「議会一般質問対応（表）」を作成させる。或はつくる。



樋渡先生曰く：議員においては、質問は、過去ではあっても、自分の「一般質問」を再度、確認する作業を怠るべきではない。

更には、議員で、もっとも意識し、自身を持つべきことは、「予算編成権は首長にあるが、予算決定権（議決権）は、議会にある。」ことに思いを強くすることである。

余談で、「市民への報告会」を実施している議員では、「映像」を見せることは効果的である。語りだけでは、そうそう続かないのは？とも指摘された。

3月31日 10:00~12:30 「来年度で使える質問の題材」

今日は、4階から5階の大会場を移しての2日目の「講座」のスタートである。大会場は、溢れんばかりの受講者。本日のみ参加した議員も大勢いて、樋渡講師の人気度を感じ取った。

・子どもの貧困対策について

子どもの貧困対策首長連合の事務局長として議員に伝えたいことは、議員は、これをやると注目度・印象度が高くなること。「貧困対



策」での質問の切り口は、「世帯調査」をしているか？もし、市で「調査」を実施しているならば、数字、いわゆる「困窮度」を以て、問うと良い。最後に「いつまでやるか」で決める。区部長の「自尊心」を煽ることもコツ。また、この「貧困対策」は、福祉的な切り口だと高齢者福祉政策に埋没するので注意が必要である。

また、「貧困」関連では、「旬」なテーマとしては、子育て世代を支援する「子ども保険」、この提案も、社会的関心度は高い。参考にすべしである。

・ 画期的なふるさと納税推進策について

制度開始から 10 年。いまは、少し過熱しすぎ。総務省も、看過できない状況に近い。「悪くはないが、節度を持ってやるべし」。

そこで、ポストふるさと納税で、薦めたいのが「ガバメント・クラウド・ファンディング」である。例を挙げると、大分県別府市のプロジェクト「湯～園地計画」を発信。2千人のパトロンと 2 千万円もの浄財を集めた。また広島県神石高原町が「犬の殺処分ゼロ」のプロジェクトを掲げ、支援を募った。こうした「ポストふるさと納税」の事例研究も参考にすべし。

・官民連携による地方創生について

1つ目、「空き家バンク」の取組み

いま、社会問題化している「空き家」対策として、統括部門として、全国空き家対策推進協議会（空対協）を設立（市町村長登録）。その傘下に「一般社団法人 全国空き家バンク（ZAB）」を置き、ここに地域で抱える空き家を司法・自治会共同で調査を行う、「空き家バンク」（仮）情報を登録。空き家情報の一元化を進め、解決を図る。行政と民間事業者のスピード感・ノウハウを注ぐ。

この「空き家」対策は、質問の「旬」である。（樋渡先生も関わっているので、随分、時間を割いた印象）

2つ目、セキュリティフォント技術の取組み

いわゆる情報漏洩対策として有効。この「セキュリティフォント技術」は、既存のセキュリティシステムを補完し、いわゆる「情報漏洩の穴」を塞ぐのに最適な技術。この「ホワイトアウト化」導入も、質問としては「旬」。民間のノウハウを充てると予算は、いまの1/10くらいで済む。参考にすべし。

3つ目、「カブジチ構想」の取組み

「株式会社自治体構想」は、民間の資金を地方に投入し、地方創生を行う民間会社を創設。ここで自治体の資源（ヒト・モノ・サービス）を、その自治体の住民を雇用して教育する。こうして拡張し、自治体の外から資金を調達するスキームをつくる「構想」である。

佐賀県みやき町が「カブシチ構想」を実現した。同町では、合併の産物、あき議場を「コールセンター」にした事例も紹介。その他、「地方発アニメ・アイドル」、「外国人施策」「ネット学校」など、その展開と可能性は大きいものがある。是非、出席議員も、ここでヒントを得た事例をもとに、地域特性を活かし「稼ぐ自治体」を目指した、「カブシチ構想」を提案されたい。

(以上)

研修会の中で、武雄市における議会の「質疑」の模様が紹介されていた。そこでは、「パワーポイント」を用い、議員の質問要旨・データが映し出されていた。言葉のやり取りだけでなく、画像を活用した質問の在り方も学んだ。

所感（まとめ）

本年度においては、私の家庭の事情から、遠隔地での出張は、自粛させていただいていた。3月21日（卒哭忌）で、一区切りがついたことから、自分の活動を本格化する「事始め」として、以前から、拝聴したいと願っていた、元武雄市長、樋渡啓祐氏の、自身も大事にしている「一般質問」を題材にした「講座」の受講を決めた。

既に、申し込みを済ませていた同会派、副代表の伊藤正志君と、実質、2日間の「研修会」に参加した。

会場に着いて驚いたのが、年度末ながら2日間通して、溢れんばかりの受講者の多さであった。特に2日目は、大会場いっぱいの受講生で、俗にいう「追っかけ議員」も散見されるなど、樋渡先生の人気ぶりが伺い知ることができた。

2日間を通して、貫して、樋渡先生が繰り返していたのが「一般質問」の重要性と、その内容の精度を磨くことであった。ここを大事にしなければ、議員としての「存在感」を、首長はじめ執行側、そして市民に対して示すことができない、と言うことであろう。

樋渡流の一般質問のポイントは、「短いフレーズで、インパクトの

ある言葉」を選ぶこと、全体の構成には「物語性」が必要であることを力説された。

分かっていたつもりなのだが、改めて、議員への原点回帰、質問が基本という「初心に帰る」ことの大切さを学んだ。

加えて、樋渡先生曰く、議員の多くは、一般質問終了で「良し」としている節がある。いわゆる質問しつぱなしではなく、必ず、配信映像や議事録で、確認・点検の「癖」を付けることの必要を説かれていた。我々、稚内市議会においても、自分においても、気づかされる点であった。

また、樋渡先生が強調していた「予算編成権は首長にあるが、予算決定権は議会にある。」いわゆる、「議決機関は、議会」重く受け止めたい。

全体に、歯切れがよく、飽きさせない論調には、感じ入った。総務省・高槻市・武雄市長の行政経験を持ち、議会と向き合ってきた実感と市職員の内情を知る「体験談」と、会場を盛り上げる「話術」は傾聴に値した。また、思いを持って参加された議員諸兄ばかりなので、学ぶ態度も、極めて良かった。

「来年度から使える質問の題材」では、「給付型奨学金」について
は、本市も考える題材と感じた。

また、ポストふるさと納税制度である「ガバメントクラウドファンディング」は、画期的なふるさと納税改良型であり、本市の行政側にも情報共有させたい。

使える「質問」の最後の部分、「官民連携による地方創生」では、
「空き家バンク」の取組みを学んだ。樋渡氏が理事長を兼ねる「空
き家バンク」。全国共通の、また本市の課題でもあるので、本市も加
入をし、全国展開の必要性も提案していきたい。

総括として、2日間の講義で、改めて思い至ったのが、我々議員と
して、「一般質問」を述べることは、「議員の華」であり、

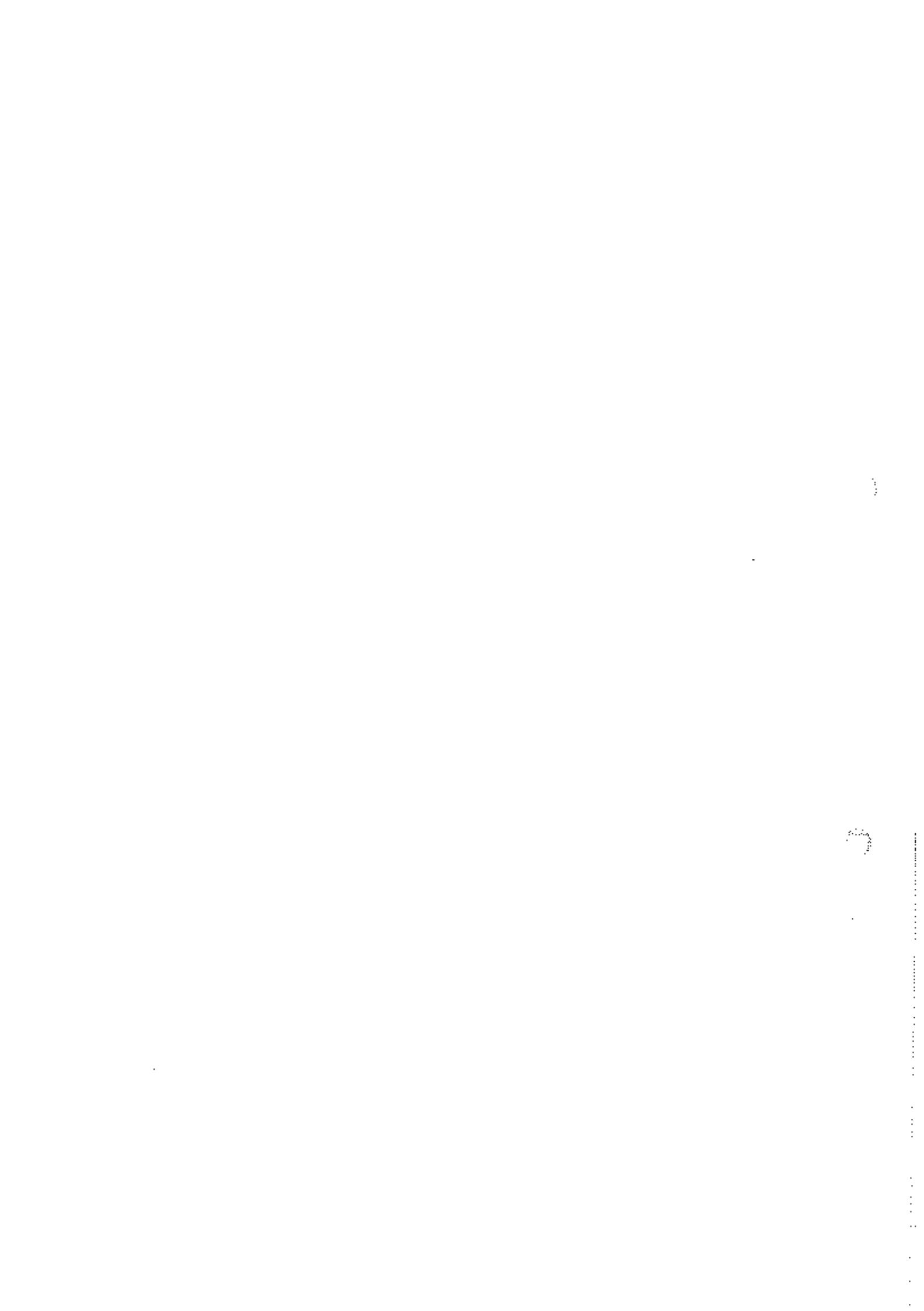
- ① 一般質問には、聞くものを惹きつけ「物語性」を常に意識する事。
- ② 一般質問には、「旬な話題」「データ」を取り上げる事。
- ③ 「一般質問」を終えたときには、絶えず確認作業を怠らない事。

ヒントとして武雄市が作成し、議員・行政共通の「議会一般質問対
応状況表」(別添)は、有効であり。本市も、検討に値する。

この3点については、特に印象に残った。

終了後、樋渡先生と言葉を交わす機会があった。これまで本市議会においても議長はじめ受講した議員の印象が強いようで、「関心のある自治体」とのこと。自分も「研修事業」を持つ、稚内市議会議員会長の立場から、「是非、都合をつけおいで下さい」と申し入れた。

議会番号	議会	質問事項	質問者	担当課	答弁内容	対応内容(具体的な方策、時期)	進捗状況		備考
							実施年月	実施時期	
1	H20.3	税や下水道使用料などの領収書を一元化してはどうか	牛田謙員 行政改革課 税務課	下水道使用料など、税務課の一元化する方向で検討したい。	・総務政編の中で具体的な取扱い。 ・審査担当業務を検討する。	対応中			
2	H20.3	贝約32をどのように実現されでいくのか	上田謙員 水道課	生活に直結したところの水道料金の引き下げを優先的に行いたい。	・引き下げに向けた水道事業計画の見直し ・実施時期 平成21年度	対応中			県の重要な事項
3	H20.3	契約で郵便地名の負担を掛けているが、現在の検討状況はいかが	上田謙員 税務課	郵便局との話し合いは終えている。 費用もかかるので、外部関係者の意見を聞きながら進めたい。	・郵便局との検討が終了 ・有識者会で議論を造りたい。 ・実施時期 平成21年度	対応中			
4	H20.3	老朽化が進んでいる山内船曳セシナへの改善や整備、今後の見見を仰いでいた	浦謙員 学校教育課	施設の改修計画、運営方式の検討を進めたい。	・運営方式は直営から民間委託への移行を検討する。 ・実施年月 平成21年度中に計画を策定	対応中			センター方式から直営方式の要望あり
5	H20.3	県員の勤務体制にソフト利用導入してはどうか	松尾陽輔 議員 議員課	職員団体と話し合いをして、そのような方向になるよう実現していただきたい。	・ソフト別の具体的な策を作成 ・職員団体との協議 ・実施時期 平成21年度	未着手			過去に検討例あり
6	H20.3	地域の経済が立ち直りしないで販賣的な施策を打てないか	松尾陽輔 議員 市民協働課	行政の中に移住シンエルジュを設けたい。	・移住シンエルジュの業務内容の検討 ・実施時期 平成21年度	未着手			移住の補助事業あり



活動内容報告書

平成29年3月27日

稚内市議会議員 吉田孝史

活動等の名称	資料購入
期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
実施場所	
実施経費	<p>17,474円</p> <p><input type="checkbox"/>調査研究費 <input type="checkbox"/>研修費 <input type="checkbox"/>広報費 <input type="checkbox"/>広聴費 <input type="checkbox"/>要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/>会議費 <input type="checkbox"/>資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/>資料購入費 <input type="checkbox"/>人件費 <input type="checkbox"/>事務所費 <input type="checkbox"/>その他</p>
活動等の概要	別紙のとおり
備考	

資料購入費（図書購入費等）の一覧

議員情報レーダー（加除式分等）1部 10,368円

現行自治六法 1部 2,570円

オピニオン 2017年の論点 1部 1,566円

現代用語の基礎知識 2017 1部 2,970円

請求書

吉田 寿史

様 平成 29年 3月 24日

東京都江東区新木場3丁目18番1号 (〒136-8575)

株式会社よつ

E
代表取締役
社長 成吉

下記のとおりご請求いたします。
金額には消費税及び地方消費税が含まれております。
(010100046649)

ご請求額	¥10,368.-	お得意様No (請求No)	70-6660270 703780160	お支払は平成29年 4月30日までにお願いします。
------	-----------	------------------	-------------------------	---------------------------

品名	登録号数	数量	単価	金額	備考
議員情報レーダー ⁺ (議員情報レーダー誌共)	29	1	10368.	10368.	

(振込先) みずほ銀行 東京営業部
普通預金 4913720 カヨウウキ

(振替番号) 703780160 ヨリク クラス

(77)

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
29-03-27		
取扱店		
払込口座		
払込金額	*10,368料金	*0 振替受付票
<p>(注) お取扱券の記入欄には、お客様の個人情報を記入して下さい。この記入欄は、払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)</p>		
記号番号		
<p>新生活応援キャンペーン実施中! 詳しくは、貯金窓口へ。</p>		

議員情報レーダー No.100

時代を探知し、時代を解説する 地方議会議員のための情報誌

おかげさまで
創刊100号!

28-2/2016

RADAR & READER

時 間

◆地方議会議員のためのLGBT入門

議員情報レーター

地方議会情報センター 編集



議員情報レーダー

議員情報レーダー

平成28年11月30日までにお支払いをお願いします。請求書

：吉田 孝史 様

ご購読ありがとうございます。下記のとおりご請求いたします。

平成 28 年 10 月 13 日

ご請求額

¥2,570

お客様番号

094-006027-0003

請求番号 8738226

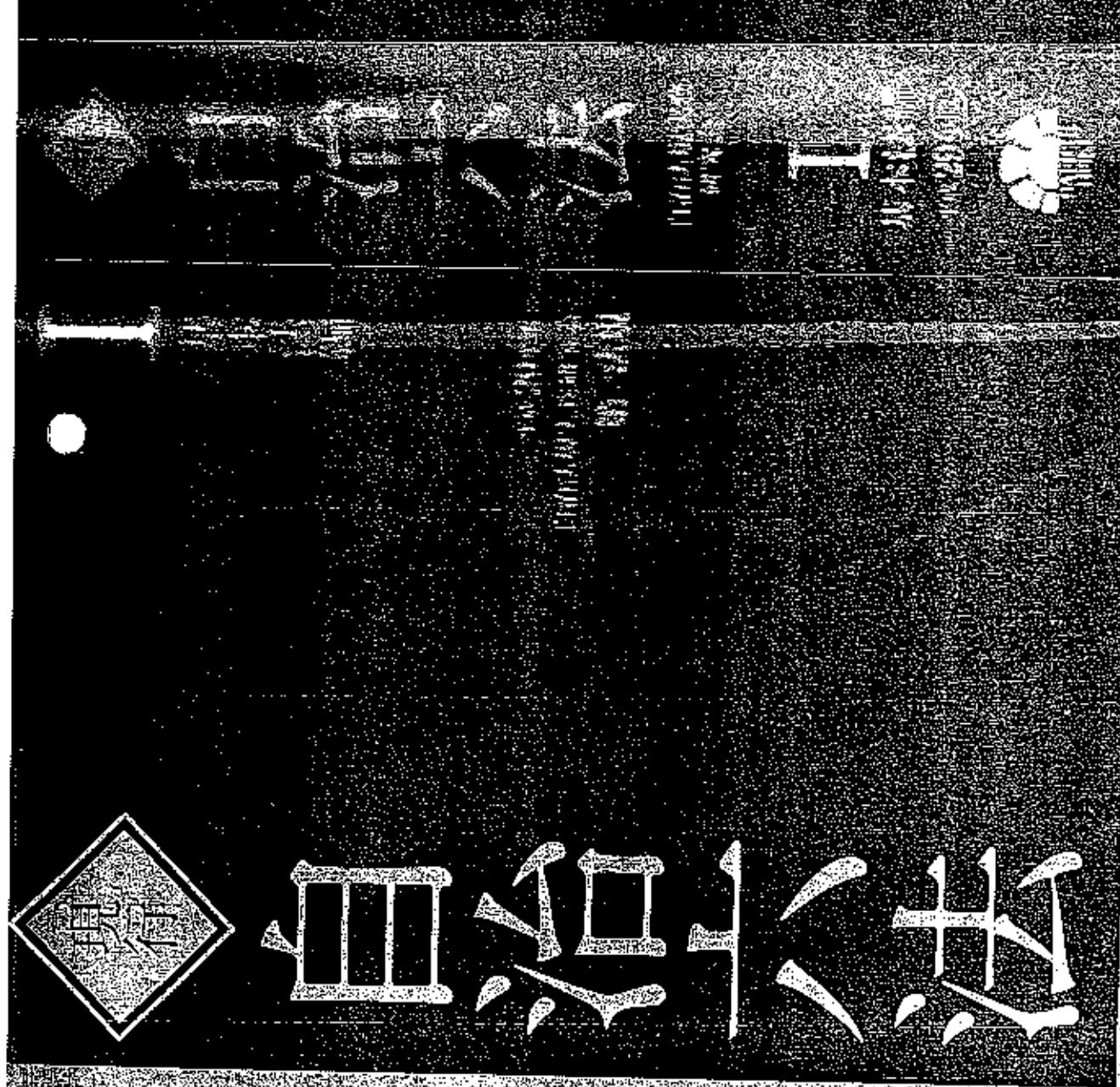
取引銀行

ゆうちょ銀行 神戸支店
当店 0013161
三井住友銀行 神戸支店
当店 0005986
八十二銀行 本店
当店 2000858

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。郵便局・金融機関・コンビニエンスストア(裏面参照)のどちらからでもお支払いいただけます。

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
28-10-17	[REDACTED]	[REDACTED]
取扱店	[REDACTED]	[REDACTED]
払込口座	[REDACTED]	[REDACTED]
払込金額	*2,570	料金
振替受付票		
第一法規株式会社 払込みの確認となるものですが 大切に保存して下さい。 料金には、消費 税等が含まれて います。 (ゆうちょ銀行)		
記号番号 [REDACTED]		
ゆうちょ口座間送金は月3回まで無 料、月4回目以降1件につき123円		





自治法規彙編研究会
第一法規
14版29年版

III

自治法規



請求書 28年12月24日 No._____

吉田秀史 様 滋内市潮見4丁目3番1
株式会社 クラーク
代表取締役 神田敏

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額	税率	消費税額等		
¥4,536	%			
品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	摘要
1 2019年9月論点	/		2566	
2 現代序説の基礎大綱	/		2970	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
合計			4536	

コケヨウ-332

領收証 吉田秀史 様 No._____

金額 ¥4,536
借主 吉田秀史
28年12月24日 上記に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等 (%)

滋内市潮見4丁目3番13

株式会社 クラーク

代表取締役 神田敏

192943001450

978416008641

（税込）

年少の繪本

100

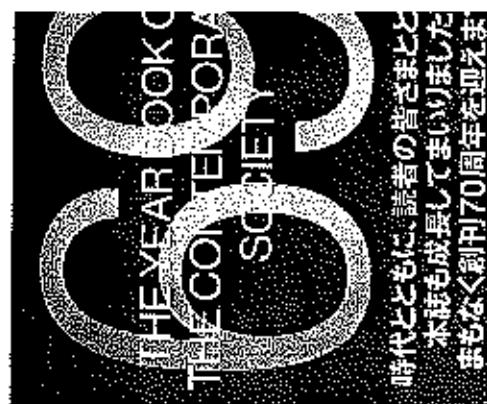
年少の
繪本

年少の

年少の繪本

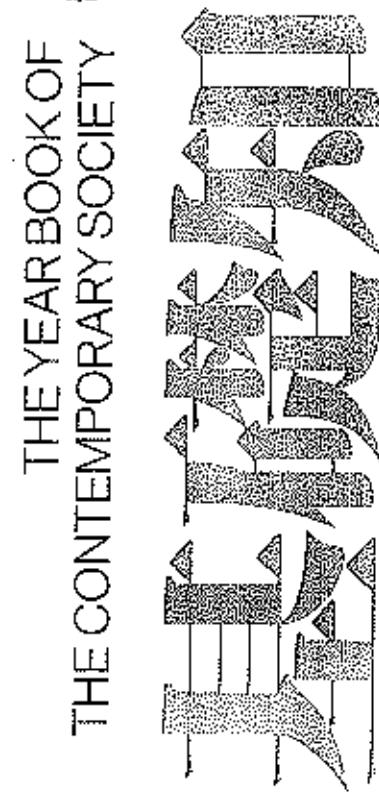


本体：￥2,750円+税
税込 69949-57
ISBN978-4-426-10135-
C9402 ¥2750E
発行・発行 自由国民社



時代とともに、読者の皆さまとともに
本邦も成長してまいりました
まもなく創刊70周年を迎えます

THE YEAR BOOK OF
THE CONTEMPORARY SOCIETY



PIPA: 11-000000000000000000

